

# 平成 30 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 30 年 7 月 28 日（土）

開式：午前 10 時 00 分 閉式：午後 11 時 10 分

場所：城山 1 丁目集会所

参加者：男 19 人、女 20 人、計 39 人

町職員：町長、副町長、建設部長、総務部長、政策課員

- ・開会 10：00
- ・町長報告 10：00～10：30
- ・懇談 10：30～11：10
- ・閉会 11：10

## ○懇談

男性 1 議会報告で見たことについて質問します。庁舎東側の道路は現在県道ですが、都市計画道路が変更になって町に移管されるとありましたが、詳細を教えてください。

建設部長 昨年に三重県と協議をし、都市計画道路を変更しまして、総合文化センターから東側の道路から橋に向かってまっすぐ道路をつなげることになりました。今年は、用地買収にとりかかっています。用地買収が完了しましたら、事業にとりかかると思います。今の渋滞を緩和できるようになりますので、我々もうれしい限りです。

町長 庁舎東側の道路は県道から町道に移管されて町管理になります。

男性 2 駅前開発の事業はなぜ積水ハウス(株)にしたのですか。事業者に頼りすぎた可能性があるのではありませんか。町の責任ではないですか。議会がこの事業をもっと把握して止める事はできなかったのですか。覚書や協定書はなぜないのですか。

町長 何年も前から三重県に働きかけをして、ようやく芽が出たのが昨年のお話です。来年の三重県都市計画マスタープランが変更になる前に今回の計画を動き出さなければならぬということがわかってきました。その点を考慮すると行政主導ではできず、民間開発主導でやらなければならないため、その手法を用いた次第であり

ます。

積水ハウス㈱とは事業計画が出た段階で契約するという話になっていました。しかし、なかなか事業計画が出てこないこともあったため、協定書を結ばませんでした。それは、土地の値段が決まらなかったことなどが原因だと思います。

議会が事業をもっと把握しなければならないとおっしゃいましたが、我々が議会に事業計画を出せなかったことにも原因があると感じております。我々行政の脇が甘かったということ認めざるを得ないということを考えています。申し訳ありませんでした。

男性 2 積水ハウス㈱にすべてを任せて町の主体性や意思がないように感じます。町民の将来を預かっているわけですから、その辺はどうお考えですか。この計画がダメになった今、脇が甘かったでは済まされないのではありませんか。

町長 今回 37ha を市街化編入しようとした中の 18ha を民間開発という手法を用いただけで町としての主体性や意思がなく、民間開発にお任せというわけではありません。きちんと事業者に町としての意思は伝えてあります。しかし、協議がうまく進みませんでした。

もちろん、脇が甘かったでは済まされないのはわかっていますので、今回の政策施策を分解し、一から立て直して計画を立てていこうと思っています。

女性 1 商業施設 (18ha) を民間開発すると伺いましたが、すぐ撤退ということが不安です。それだけをこだわってする必要はあるんですか。農業で特色あるものを作ったほうが良いと思うのですがどう思いますか。

町長 イオンじゃない商業施設を作りたいかった。イオンですと新しい店が入っても採算が合わなければ撤退になります。イオンでいくら売れても税金は千葉にすべてもっていかれます。ですから、町の地元の店を中心に入ってもらうことを考えていました。積水ハウス㈱は商業施設が得意ではないということだったので、我々行政で 2/3 は埋める予定をしていました。

特産品については大豆を作り出しました。フクユタカという全国的な種類ではないナナホマレという品種を作っています。それで四日市の企業と連携しておからのでない豆乳などを作り、町内で加工し販売する 6 次産業化を目指します。2 年後の東員町で加工できるように企業を誘致する予定をしています。そのときの拠点を駅前にしようと考えていました。しかし、駅前には難しいかもしれないので、一から政策施策を立て直していこうと思っています。

女性 2 このような大豆の事業は生産者がいて初めて成り立つと思うのですが、今生産者がいるかどうかお話を聞いてもわかりません。もうひとつあります。城山がお荷物だとどこかに書いてありましたが、そんなことは言わないでほしいです。

町長 四日市の企業と町内農業従事者 2 社と提携を結んで、法人化して生産して売るまで 6 次産業化をします。町内で町民ができるようにしようと思っています。

城山がお荷物だということはありませんし、そのようなことを言った覚えもありません。ただ、高齢化が急速に進むことが予測されますので、それについての対策をしなければならない点は考えなければと思っています。城山が循環するような対策をしなければと思っています。

女性 2 以前の町長のときに若者の移住を促進させる補助金がありましたが、今はそういうことはしないのですか。

町長 私になってから無くしました。しかし、私が就任してからのほうが転入は増えているのが現状です。つまり、それが決定的な理由にはならないということになります。町の財政も厳しくなっています。決定的な理由でないものに関しては止めていき、本当に必要なものに使おうと思っています。アンケートの結果も、定住促進補助金よりも別の理由が多いことがわかりました。

女性 2 箱物行政についてはどうなんですか。

町長 私になってから、箱物は作っておりません。行政のものを作ることを箱物といますが、私は改修工事を推奨しています。ただ、東員第一中学校だけは新しく作らなければならないと思っています。危ない場所に子どもを通わすことはできないのでそれだけはやらなければならないと思っています。

男性 3 東員第一中学校の老朽化が進んでいるし、場所も偏っています。移転先として、他の場所はどこがあるんですか。

町長 東員町の真ん中へもっていくことが一番いい形だと思っています。ですので、数日前に三重県へ担当者を向かわせ、色々と協議を始めています。あの場所へ移転できるように最善を尽くしていこうと思っています。

女性 1 中学校を真ん中へ持ってくると交通量が多く危ないと思います。今の方とは間逆

の意見ですが検討してください。緑の多いとこの方がいいと思います。

町長        都市計画道路も変更になって交通量の面は問題ないと思っていますし、今の場所だと距離が非常に遠い地域の方もいるし、川や国道、県道を越えて学校へいくことがとにかく危険ですので、それを考慮して真ん中へもっていくことを考えています。どうかご理解いただきますようよろしくお願いします。